

大豆「つくも4号」の栽培試験成績

帯広市川西農業協同組合

1. 目的

士別市で特産を目指している茶豆「つくも4号」の帯広市地域における栽培適性について検証する。

2. 実施場所

帯広市川西町 帯広市農業技術センターほ場

3. 栽培方法

(1) 供試品種 : 「つくも4号」

(2) 面積および区制

1区面積 25.2 m² (畦幅 66 cm × 2畦 × 19m) 反復無し

(3) 耕種等概要

土壌区分	土性	前作	畦幅×株間	栽植本数
沖積土	壤土	にんにく	66cm×18cm	8,417 株/10a

※1株2粒播き

施肥量 (kg/10a)						防除回数	
施肥は種	肥料名	窒素	リン酸	加里	苦土	病害	虫害
5月15日	川西大豆1号 24g/10a	0.7	6.0	3.1	1.1	3	4

4. 試験結果

(1) 生育調査

供試品種	出芽期	開花期	成熟期	刈取時期	倒伏程度
つくも4号	5月27日	7月5日	9月23日	9月23日	無
とよまどか ^{注)}	5月29日	7月6日	9月21日	9月23日	無

供試品種	成熟期		
	草丈 (cm)	葉数 (葉)	莢数 (莢/株)
つくも4号	59.3	10.0	31.6
とよまどか ^{注)}	78.8	9.2	58.8

注) 「とよまどか」は5月17日には種された学童用展示ほ場で調査

- ① 「つくも4号」の節間は短く、草丈が低い。
- ② 出芽迄日数や開花時期は「とよまどか」と大差が無く、成熟期は2日程度遅かった。
- ③ 節数は「とよまどか」と同等だが、着莢数は少なかった。

(2) 収量調査

供試品種	総子実重 (kg/10a)	製品子実重 (kg/10a)	左比	百粒重 (g)	屑豆率 (%)	等級
つくも4号	246	93	32	44.9	62	外
とよまどか	348	289	100	33.8	17	2

- ① 「つくも4号」は「とよまどか」に比較し百粒重が大きいいため、総子実重では莢数ほどの差は生じないものの、屑豆が多く製品子実重で大きく劣った。
- ② 「つくも4号」は虫害の他にしわ粒や変形・未熟粒が目立った。
- ③ 「とよまどか」の屑豆の大半は、マメシンクイガの食害又はカメムシの吸汁害だった。

5. 考察

- ① 虫害を除けば大きな生育阻害はおこらなかった。
- ② 「つくも4号」は草丈が短く倒伏の懸念は無く、熟期も当地域に適合する。
- ③ 収量性は劣る結果であり、茶豆としての食味を評価した特定需要がなければ、小規模での栽培にとどまる品種と思われる。
- ④ 実栽培を行うには、通常年での生育を再確認することが望ましい。



←7月6日
「つくも4号」



→
7月3日
「とよまどか」
「ユキシズカ」



←「つくも4号」の唐箕選後と
屑豆・製品